

令和6年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
1	学校教育課	教育支援事業	各小中学校における教育活動の充実と活性化を目的とする。	・生徒指導教育相談研修会、食物アレルギー等対応研修会 各1回開催 ・希望研修会、専門・個人・グループ研修会の開催 ・知能検査及び入間東部班15中学校統一学力検査の実施 ・学習指導要領を反映した小学校3・4年生用社会科デジタル副読本「ふじみ野」の作成 ・日本語適応指導員の配置(指導員5名、児童生徒数24名) ・市委嘱研究校6校、540,000円 ・市内全19校で民間施設プールを活用した水泳学習の実施 ・令和5年度小学校教科書採択に伴う教師用指導書・通常教材・指導者用デジタル教科書の購入	455,502	「学校に行くのが楽しい」と答えた児童生徒数の割合(小学6年生、中学3年生)(%)	86.0(82.0)	84.6(83.3)	拡充
						学力が伸びた児童生徒数の割合(%)	70	46	
2	学校教育課	教育相談事業	学校における生徒指導・教育相談体制・就学支援体制を整え、学習指導、生徒指導、教育相談の充実を図る。	・さわやか相談員6名を各中学校に配置 ・市教育相談室に教育心理相談員4名(特別教育相談員を含む)、適応指導員1名を配置 ・WISC検査を文京学院大学でも実施できるように体制整備	41,715	相談員、学び育ちサポーターの配置(人)	50	49	継続
						不登校児童生徒の出現率(小学校)(%)	0.90	1.83	
						不登校児童生徒の出現率(中学校)(%)	4.40	5.88	
3	学校教育課	国際化・情報化教育推進事業	国際理解教育を推進し、外国語による表現力及びコミュニケーション能力の育成を図る。 また、ICTを活用した情報教育の推進を図る。	・市内全小中学校にALTを18名配置した。 ・GIGAスクール構想を実現するための研修会を実施した。 ・児童生徒用デジタル教科書の活用をした。 ・児童生徒用タブレットを2,684台購入した。	447,799	コンピュータの整備(校務用PC、児童生徒用タブレット端末)(%)	100	100	継続
						タブレット端末の活用率(週3回～毎日)(小学校)(%)	70	92	
						タブレット端末の活用率(週3回～毎日)(中学校)(%)	70	83	
4	教育総務課	教材・理科備品整備事業	教育環境の整備・充実を図るため、市立小・中学校を対象に、備品が老朽化することで教育活動に支障をきたすことがないように、また、年度によって経費が偏ることがないように、計画的に備品を更新することを目的とする。	各小中学校教材・理科備品の整備を図った。小学校はてこ実験器・顕微鏡など、中学校は電源装置・顕微鏡などの最重点設備を重点的に整備した。	16,734	理科教育設備整備費等補助金執行率(%)	100	100	継続
5	学校教育課	富士見特別支援学校措置事務	障がいのある児童生徒のため富士見特別支援学校の特別支援教育を受ける機会を提供する。	・富士見特別支援学校に通う児童生徒12名の送迎を実施 ・児童生徒12名分について、就学に伴う負担金を富士見市と協議し、負担金の支払いを行う。	29,607	障がいのある児童生徒の支援事業(人)	10	12	継続

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
6	学校教育課	学校教育広域行政 関連事務	埼玉県及び西部地区等の教科・領域等の研究協議会に参加することにより、広域での諸課題を解決することで、教育の充実を図る。	各種研究協議会等に参加し、課題の解決に向けた研究・協議を行うことができた。	6,300	埼玉県教育研究所連絡協議会負担金(千円)	2,350	2,000	継続
7	教育総務課	小学校運営事業	市立小学校13校を対象に、児童が安心して快適に生活できる教育環境を作るとともに、事務を効率的・効果的に執行することを目的とする。	学校市費事務員と定期的に連絡・調整を行い、各学校の事務の統一を図るとともに、各学校と調整のうえで、教育環境の整備充実のために各小学校の一般備品・図書などを確保した。また、学校塵芥収集運搬業務等を実施した。	258,700	学校図書の充足率(%)	100	100	継続
8	教育総務課	小学校施設管理事業	義務教育施設として求められる施設環境の整備・充実・安全性の確保及び維持管理を図るため、小学校施設の計画的な整備、不具合等への対応及び維持管理を目的とする。	・亀久保小学校高圧受変電設備修繕を行った。 ・上野台小学校受変電設備更新工事を行った。 ・東原小学校教室用空調設備設置工事を行った。 ・三角小学校及び亀久保小学校の小荷物昇降機修繕を行った。 ・大井小学校、西小学校及び上野台小学校の門扉修繕を行った。 ・小学校校舎LED化工事設計業務委託を行った。 ・小学校植栽管理業務委託及び小学校樹木診断業務委託を行った。 ・施設包括管理事業者と協力し、各種修繕を実施した。	195,192	修繕業務実施率(%)	100	100	継続
9	教育総務課	中学校運営事業	市立中学校を対象に、児童が安心して快適に生活できる教育環境を作るとともに、事務を効率的・効果的に執行することを目的とする。	学校市費事務員と定期的に連絡・調整を行い、各学校の事務の統一を図るとともに、各学校と調整のうえで、教育環境の整備充実のために各中学校の一般備品・図書などを確保した。また、学校塵芥収集運搬業務等を実施した。	143,611	学校図書の充足率(%)	100	100	継続
10	教育総務課	中学校施設管理事業	義務教育施設として求められる施設環境の整備・充実・安全性の確保及び維持管理を図るため、中学校施設の計画的な整備、不具合等への対応及び維持管理を目的とする。	・福岡中学校擁壁修繕を行った。 ・花の木中学校教室用空調設備設置工事を行った。 ・大井中学校校庭修繕を行った。 ・花の木中学校バスケットゴール修繕を行った。 ・中学校植栽管理業務委託及び中学校樹木診断業務委託を行った。 ・中学校校舎LED化工事設計業務委託を行った。 ・施設包括管理事業者と協力し、各種修繕を実施した。	58,511	修繕業務実施率(%)	100	100	継続

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
11	教育総務課	中学校大規模改造事業	老朽化した学校施設について、内外装・設備の改修及び新しい教育内容に適した改造等を行うことにより、安全で快適な学校施設環境整備を図る。また、学校施設の地域開放を推進するために必要な整備を図る。	・花の木中学校校舎大規模改造工事設計業務委託を行った。 ・大井東中学校校舎大規模改造工事の第2期工事を行った。 ・福岡中学校校舎D棟大規模改造工事の第1期工事を行った。	750,044	中学校大規模改修率(%)	93	93	継続
12	学校教育課	健康管理事業	児童生徒及び教職員等の心身の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に定められた健康診断や就学時健康診断等を実施する。また、安全安心な環境の下で教育活動を行えるよう環境衛生検査を実施する。	・就学時健康診断や定期健康診断を実施し、安全・安心な学校生活が送れるよう児童生徒の健康の保持増進を図った。また、教職員についても健康な状態で教育活動に専念できるよう教職員ストレスチェックや管理職研修、定期健康診断を実施のうえ教職員の健康管理を実施した。 ・定期健康診断におけるレフラクトメータ検査の活用により学校眼科検診の充実が図られた。	73,787	健康診断を実施した児童生徒の割合(%)	100	100	継続
						就学時健康診断を実施した児童の割合(%)	100	100	
						教職員等の健康診断受診率(人間ドック受検者含む。)(%)	100	100	
13	学校給食課	学校給食事務	学校給食法で定められた学校給食の目標に基づき、児童・生徒に安全で良質な給食を提供する。 また、同法第11条第2項に基づき、保護者から徴収する学校給食費の管理を行う。	①収納課と連携し、債権放棄を実施するとともに、滞納繰越分のうち給食課での徴収が困難な案件を収納課に移管することで滞納繰越分徴収率向上の強化を図った。 ②課の栄養士全体のハブ機能としての役割を担う栄養士を学校給食係に増員配置し、食物アレルギーに関する課での対応や政策的方針決定力、献立原案の内容チェック、アレルギー面談等の対応などの強化を図った。 ③令和7年度からの教職員等の学校給食費の改定を実施した。	103,376	収納課との連携件数(件)	20	22	継続
						学校給食費徴収率(現年度分)(%)	100.00	99.73	
						学校給食費徴収率(滞納繰越分)(%)	14.00	31.56	
14	学校給食課	なの花学校給食センター管理運営事業	学校給食法に基づき、児童・生徒及び学校関係者に対し、安全・安心かつ栄養バランスを考慮した良質な学校給食を提供する。	前例のない物価高騰が続く中、学校給食の質や量の低下を招くことの無いよう調理や献立上の工夫をするとともに、保護者負担を追加することのないよう物価高騰分を10%と見込み賄材料費予算を確保、しかしそれを上回る物価高騰のためさらに13%の増額補正を行った。(なの花学校給食センター管理運営事業 45,652千円、あおぞら学校給食センター管理運営事業 37,353千円 合計 83,005千円) アレルギー対応食の提供における正確性を改善するため、運営事業者と連携し配膳・配送に係る事務マニュアルの見直しを図った。	634,541	食育の推進(食育事業の回数)(回)	15	28	継続
						給食に対する満足度(%)	70.00	79.91	
15	学校給食課	あおぞら学校給食センター管理運営事業	学校給食法に基づき、児童・生徒及び学校関係者に対し、安全・安心かつ栄養バランスを考慮した良質な学校給食を提供する。	・前例のない物価高騰が続く中、学校給食の質や量の低下を招くことの無いよう調理や献立上の工夫をするとともに、保護者負担を追加することのないよう物価高騰分を10%と見込み賄材料費予算を確保、しかしそれを上回る物価高騰のためさらに13%の増額補正を行った。(なの花学校給食センター管理運営事業 45,652千円、あおぞら学校給食センター管理運営事業 37,353千円 合計 83,005千円) ・安心安心な給食提供を行うため、施設修繕計画を作成した。今後のセンター存続期間を鑑み計画期間を20年とした。この計画を基に厨房機器や施設設備等の更新や修繕を計画的に進めて行く。	608,002	栄養教諭や学校給食センターによる食育活動の展開(回)	29	10	継続
						PTA試食会アンケートでの「おいしい」回答率(%)	80	87	